

一般社団法人日本循環器看護学会

令和4年度事業計画（令和4年8月～令和5年7月）

常設委員会	事業計画
学術	<p>1. 循環器病に関わる看護職者の知識の向上に資する教育セミナーの開催</p> <p>(1) ZOOMウェビナーを活用したオンラインセミナーの開催 2回 2023年2月(予定) 2023年7月(予定) 在宅医療、心リハ、緩和ケア、意思決定支援、倫理調整、循環器併存疾患などに関するテーマを検討する。</p> <p>(2) 次年度に向けてセミナー内容の体系化の検討(クリニカルラダーレベルに合わせた内容など) 会員に対するニーズ調査の結果をもとに検討する</p> <p>1. 海外の循環器看護に 関連する会との交流</p> <p>(1)GCNLF:The Global Cardiovascular Nursing Leadership Forum への参加(2021年10月頃開催)</p> <p>(2)ACNAP:Association of Cardiovascular Nursing & Allied Professionsへの参加(2022年6月頃開催)</p> <p>(3)上記交流内容を会員へ広く周知する(学術集会やホームページの活用)</p> <p>2. 循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた検討</p> <p>(1) 循環器看護の定義案をもとに循環器看護のコア・コンピテンシーの作成を検討する。 目的:多様化する循環器医療において、循環器看護の専門職の育成に寄与する。</p>
学会誌編集	<p>1. 日本循環器看護学会誌年2回(第18巻第1号,第18巻第2号)の発行、第19巻第1号の発刊準備</p> <p>2. 電子投稿システム・査読システムの運用の評価と改善(継続)</p> <p>3. 専任査読委員体制強化(継続) テーマ、研究方法論 分析手法等の専門性に対応可能な体制作り</p> <p>4. 投稿原稿の活性化及び質向上に向けての対策の検討(継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第19回学術集会での委員会セミナー(投稿論文作成や査読の受け方等) ・投稿規定(投稿者の条件、著作権等)の検討 ・学会誌オンライン化へ向けた移行準備
政策・診療報酬	<p>1.2024年度診療報酬改定にむけて循環器看護分野からの医療技術、診療体制等についての提案準備</p> <p>2.日本看護協会の心不全患者の療養支援に関する実証事業に参加</p> <p>3.医療保険に関する外部機関への会議等の出席、および渉外(看護系学会社会保険連合等)</p>
広報	<p>1. 学会ホームページの改修・会員専用コンテンツの充実</p> <p>2. 会員の研究・臨床実践活動に関する広報活動推進</p> <p>3. ニュースレターの発行</p>
倫理	<p>1. 申請のあった研究に対して、規定に基づき倫理審査を行う</p> <p>2. 個人情報保護に関する問題が生じた場合に対応を行う</p> <p>3. 本学会の研究に関する「利益相反指針」を運用する</p> <p>4.一般社団法人日本循環器看護学会倫理綱領に関する問題が生じた場合に対応を行う</p>
国内交流	<p>1.本法人の国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流を図る。</p> <p>(1)関連法人・学会・研究会との樹蔭シンポジウムの企画、およびジョイントシンポジウム開催の承認、座長の推薦等を行う。</p> <p>(2)新たな関連法人・学会・研究会とのジョイント・シンポジウム開催後の座長、演者の意見のもとに今後の交流について検討する。問題が生じた場合は、直ちに委員会で検討し、解決を図る。</p> <p>2.関係諸団体との本法人の窓口となる。</p>
選挙管理	<p>1. 法人第6期における選挙にむけた計画</p>
総務	<p>1. R3会員ニーズ調査に基づく本会事業見直しに伴う委員会組織・業務の整理および各委員会の活動支援、調整</p> <p>2. 理事会、社員総会、会員総会の運営補助</p> <p>3. 会員獲得・会員情報管理に関する事業</p> <p>4. 規定類の評価・見直し:特に学会・学術集会関連情報のオンライン化と関連規定の検討・見直し</p> <p>5. 若手研究者の研究助成事業の実施・評価</p>